

令和 5（2023）年度ユネスコスクール定期レビューの結果について

ユネスコスクール事務局

1. 定期レビュー実施概要

時期	内容
令和 5 年 6 月～7 月	定期レビュー対象校による活動チェックシートに基づく自己評価
7 月～8 月	オンライン研修会（ピアレビュー） - 約 50 校×4 回実施（各回半日） - 事前視聴動画に関する質疑応答、レビューアドバイザーによる講演、参加校による実践発表、グループディスカッション、全体共有等を実施
8 月～10 月	レビューアドバイザーによる活動評価シートに基づく書面評価（有識者レビュー）
10 月～11 月	レビューアドバイザーによる全体評価のための合議（有識者レビュー）
12 月	ユネスコスクール事務局から定期レビュー対象校に、書面レビュー結果及び中期活動計画提出対象校を通知
令和 6 年 2 月	定期レビュー対象校からユネスコスクール事務局に中期活動改善計画を提出（作成に当たってレビューアドバイザーが指導助言）

2. 定期レビュー結果

（単位：校）

ユネスコスクール加盟継続	197
ユネスコスクール加盟解除 （中期活動改善計画提出対象校の中で継続希望無しの学校）	12
留保中（中期活動改善計画作成中）	4

合計：213 校

（参考）

自己評価結果		有識者（レビューアドバイザー） 評価結果	
評価（※1）	校数	評価（※1）	校数
5	6	5	6
4	87	4	68
3	101	3	102
2	7	2	28
1	1	1	3
自己評価未記入	5		
未提出	6	評価不能	6

合計：213 校（※2）

(※1)【評価基準】5：よくできている、4：できている、3：普通、2：改善点がある、1：改善が必要

(※2) 定期レビュー対象校 220 校のうち、認定解除を希望した（していた）7 校を除く 213 校。

3. ユネスコスクールにおける主な成果と課題

定期レビュー研修会におけるグループディスカッションにおいて、様々な成果と課題が共有された（ディスカッションシートに基づき一部を記載）。

【成果】

- 世界遺産、エコパークなどのユネスコ登録事業をはじめ、各地域の特色を活かした多様な実践が行われており、地域への愛着・誇りの醸成につながっている。
- ユネスコスクールであることを意識して活動することが、「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実につながっている。
- ESD を軸に体系的にカリキュラムを設計することで、目的・ねらいが整理され、見通しをもった指導ができるようになった。
- 生徒の主体的な活動が活発化し、卒業後も在校生をサポートする、先輩の姿を見て在校生のユネスコスクールとしての意識が高まる、などのよい循環が生まれている。
- 児童生徒が様々な課題を自分ごととして捉えるようになるとともに、よりグローバルな視点を持つようになった。
- 児童生徒がユネスコの理念を軸に様々なテーマに関心をもつようになり、活動内容の広がりや活動を通じた自己有用感の高まりにつながっている。
- 教員が主体的に外部（他校、地域、企業など）と関わるようになることで、子供たちの学びもより主体的になった。
- 加盟後、大人と子供の信頼関係が増し、あたたかい校風となった。

【課題】

- 学校間交流やネットワークを活かした活動ができていない、または交流範囲が固定化されている。
- 教員間の温度差を含め、学校全体でユネスコスクールであるという意識を醸成することが難しい。
- ユネスコスクールであることやこれまでの活動を継続しなければならない雰囲気が教員の負担感となっている。
- ユネスコスクールの加盟継続要件の一つである国際デーを記念する取組が不十分。
- HP の活用を含め、外部への発信が不十分。
- 特に公立学校は、管理職や担当教員の異動があるため、加盟当初の積極的な活動の継続が難しい。

4. 定期レビュー導入後の変化

ユネスコスクール事務局業務を通じて、以下のような定期レビューの影響による変化を

感じている。

- 学校間交流マッチング支援への依頼や交流募集の呼びかけに対する応募が増えた。
- 定期レビューの負担を理由に認定解除を希望する学校が増えた。

5. 定期レビューの運用に対する評価

定期レビューの仕組みや運用方法に対して、レビュー対象校やレビューアドバイザーから以下の意見や所感が寄せられた。

- 研修会で地域や校種の異なる多様な実践を知ることができ、参考になった。
- 研修会における異校種の教員間の交流により、学びの連続性を意識するきっかけとなった。
- 定期レビューによってユネスコスクールとしての自覚が芽生えた。
- 活動チェックシートや活動を示す根拠資料の提出に負担を感じた。
- 前任者からの引継ぎが不十分で、定期レビューについて知らなかった／よく理解できていない。^(※3)
- データ提出に利用しているクラウドファイル共有サービスを利用できる環境が整っていない。
- 学校からの提出書類の不備が多く、レビューアドバイザーとして評価に想定以上の時間と労力を要した。

(※3) 事務局より前年度中にレビューの概要や研修会日程を案内している。